令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

都道府県名	39_高知県
市区町村名	393631_土佐町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
393631_土佐町	①学校運営上の課題	障害や困難を抱える児童生徒への対応	一部の教科や学年によっては、日常的に支援が必要な児童がおり、担当教員のみでは対応が難しい課題がある。	・地域学校協働活動推進員を常時3名体制で年間200日以上配置し、必要な支援内容の把握と共有を行い教員の業務負担を図る。 ・元教員など経験豊富な地域のボランティアを中心に協働活動支援員として日常的に学校に配置して児童の学習を含めた支援を実施する。	・地域学校協働活動推進員を常時3名体制で年間200日以上配置し、1年生を中心に必要な支援内容の把握と共有を行い教員の業務負担を図る。 ・元教員など経験豊富な地域のボランティアを中心に協働活動支援員として日常的に学校に配置して児童の学習を含めた支援を実施する。	子どもたちの教育環境の向上を目指して、日常的な児童の学習支援及び、学校で必要な給食時の対応や授業準備等の補助的業務を行う。	地域学校協働活動が教員の負担軽減に寄与している実感がある教員の割合（CSポートフォリオ生徒指導等の負担の軽減）	90	%	95		
393631_土佐町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	平日は学習支援に主となり、地域ボランティアを充分に活用した英会話教室やスポーツ教室などの体験活動が行えていない課題がある。	・常駐する推進員は町内にある団体や地域住民と協働して、体験活動の計画及び実施を行う。	・地域学校協働活動推進員を常時2名体制で年間200日以上配置し、常駐化する。 ・常駐する推進員は町内にある団体や地域住民と協働して、体験活動の計画及び実施を行う。	これまで以上に多様な体験活動の機会を創出することで、児童にとって放課後子ども教室への参加をより有意義なものとし、幅広い地域住民との交流を図る。	平日の放課後子ども教室における、定期的かつ継続的な体験活動等の年間実施数	10	件	15		

記載不要

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。